※４月以降の日時・内容等には変更がある場合がございます。ご了承ください。

全８回講座内容（テーマ・講師）

①	1/24（日）※14:30 開始	旧陸軍被服支廠とヒロシマの記憶 何のために残すのか	小田原のどか（彫刻家・彫刻研究） 森田裕美（中国新聞論説委員） 切明千枝子（被爆者）
②	2/23（火・休）	「在日朝鮮人女性」とは誰なのか ジェンダー視点から考える	宋連玉（文化センターアリラン館長） 尹李英愛（フリーライター・通訳者） 朴金優綺（在日本朝鮮人人権協会事務局）
③	3/28（日）	加納実紀代が語る、 加納実紀代を語る 「平和」表象としての鳩と折鶴	平井和子（一橋大学ジェンダー社会科学研究センター） 池川玲子（東京女子大非常勤講師） 高雄きくえ（ひろしま女性学研究所）
④	4/25（日）	撮り続ける笹岡啓子 写真集「パーク・シティ」公園都市広島	笹岡啓子（写真家） 柿木伸之（広島市立大学教員）
⑤	5/23（日）	広島・山口の 地域在日朝鮮人史を掘り起こす	鄭佑宗（同志社大学教員） 安くんじゅ（比治山大学非常勤講師） 権鉉基（資料室準備会世話人）
⑥	6/27（日）	セクシャル・マイノリティと フェミニズムの対話 家父長制・婚姻制度／トランスジェンダー	河口和也（広島修道大学教員） 堀江有里（信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会代表） ウルリケ ヴェール（広島市立大学教員） 高雄きくえ（ひろしま女性学研究所）
⑦	7/25（日）	＜この世界の片隅に＞現象を 読み解くためのレッスン	川口隆行（広島大学教員） 植松青児（編集者・アクティビスト） 西井麻里奈（大阪大学助教）
⑧ 最終シンポジウム	8/22	広島で＜加害性＞を語るということ ―日本・アジア・アメリカ― 植民地責任・戦争責任・戦後責任と被爆都市のあいだ	（登壇者未定）

参加方法

通し券のご購入

右記のチケット購入サイトにて、会場参加もしくはオンライン参加の通し券をご購入ください（クレジットカード決済）。クレジットカードをお持ちでない方や、海外発行のクレジットカードの方、購入に自信のない方は、お問い合わせ先のメールアドレスまでお名前と電話番号をお知らせください。お振込み先のゆうちょ口座を追ってご連絡します。なお、会場通し券は 60 枚限定です。新型コロナウイルス等の状況により、会場参加の通し券をご購入いただいてもオンラインでの参加をお願いする可能性もございます。

一回ごとのご購入（オンライン）

右記のチケット購入サイトにて、ご希望の回のチケットをご購入ください。前日までに視聴用の URL をメールでお送りいたします。

一回ごとのご購入（会場参加）

当日、会場の受付で参加費をお支払いください。空席がない場合はお断りする場合がございますので、事前にお問い合わせいただくことをお勧めします。

通し券（会場もしくはオンライン参加）およびオンラインでの単発の参加は、以下の QR コードからお申込ください

ほかのアクセス方法

「Pass Market」というサイト（https://passmarket.yahoo.co.jp/）で、検索の窓に「植民地主義」と入力してイベントを検索してみてください。どうしても見つけられないという方は下記メールアドレズまでご連絡ください。

お問い合わせ先（主催）

広島・ジェンダー・「在日」資料室準備会
E-mail: hgz.library@gmail.com